

## 対アンティグア・バーブーダ無償資金協力

### 海水淡水化プラントの引渡し式

2022年3月31日

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

3月24日、アンティグア・バーブーダのフライズビーチにおいて、海水淡水化プラント設置に関する引渡し式が実施されました。この事業は、日本政府による2億円（約170万米ドル）の無償資金協力（経済社会開発計画）として実施されました。

この海水淡水化プラントは、日産40万ガロン（約1,500m<sup>3</sup>）の淡水生産が可能で、2022年2月下旬に稼働しました。このプラントは、セント・メアリー地区の広い範囲に水を供給することによって、地域の農業者だけでなく、アンティグア・バーブーダの食料安全保障にも貢献するものです。

松原裕大使は、ガストン・ブラウン首相、ロビン・ケンワース・モントゴメリー・イヤード上級大臣兼公益事業・民間航空・エネルギー大臣、サマンサ・マーシャル農業・漁業・バーブーダ島問題大臣、ダベン・ジョセフ開発担当大使及び関係者と共に本式典に参加しました。

日本政府は、今後とも小島嶼国特有の脆弱性の克服を図るとともに、カリブ各国との友好関係と相互理解を促進するため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理、水産分野等に対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館  
経済・開発協力班  
Tel: + (1-868)-628-5991  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

